

東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～スポーツ大会を活かした地域振興～ 平成 27 年度の目標達成状況と主な取組の進捗状況について

I 作成の趣旨

本資料は、平成 27 年 3 月に策定した東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～スポーツ大会を活かした地域振興～ に掲げられている目標の達成状況及び同プランに基づき実施する主な取組の進捗状況を東三河ビジョン協議会でとりまとめ、点検・公表するとともに、同プランのさらなる推進を図っていくためにまとめたものです。

II 目標の達成状況

東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～スポーツ大会を活かした地域振興～ に掲げる 3 つの目標の達成状況は、次表のとおりです。

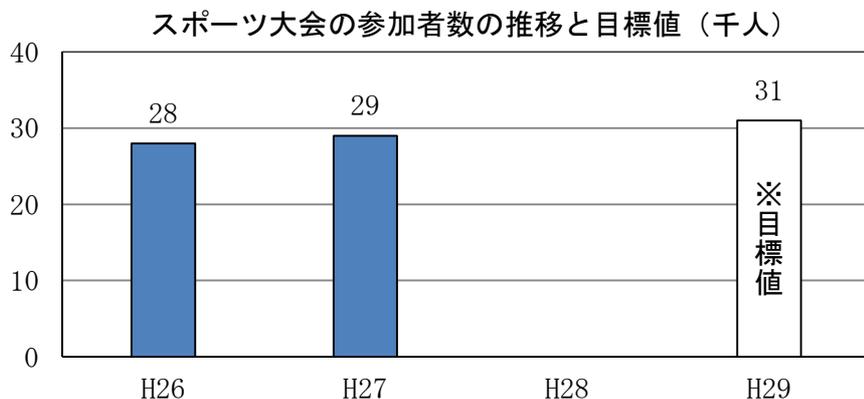
| 項目 | 数値目標 | 計画当初 | 達成状況 |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 目標 1 新たなスポーツ大会数 | 2 大会 (平成 29 年度) | 未実施 (平成 26 年度) | 3 大会 (平成 27 年度) |
| 目標 2 スポーツ大会の参加者数 | 3 1 千人 (平成 29 年) | 2 8 千人 (平成 26 年) | 2 9 千人 (平成 27 年) |
| 目標 3 スポーツ大会の観客数 | 1 3 3 千人 (平成 29 年) | 1 2 7 千人 (平成 26 年) | 1 2 9 千人 (平成 27 年) |

1 新たなスポーツ大会数

- 新たなスポーツ大会数については、民間事業者や競技団体、自治体などが連携し、東三河地域全体の振興につながる広域的なスポーツ大会を、平成 29 年度までに 2 大会立ち上げることを目標としています。
- 奥三河地域の地形を活かしたトレイルランニング「奥三河パワートレイル」が立ち上がり、平成 27 年 4 月 12 日に第 1 回大会が、平成 28 年 4 月 24 日に第 2 回大会が開催されました。
- 新城市では新たなトレイルランニング「ダモンデトレイル」が立ち上がり、平成 27 年 2 月に第 1 回大会が開催され、平成 28 年 5 月 15 日には第 4 回大会が開催されました。
- 愛知県では、奥三河地域と都市部の交流人口拡大を目的として、奥三河地域で実施されている既存のマラソン大会をシリーズ化した「奥三河マラソンシリーズ」を開催しました。
- 以上 3 つの新たなスポーツ大会が開催されたことで、数値目標は達成されています。
- 自転車長距離ツーリングイベントの開催に向けた取組も、引き続き進めてまいります。

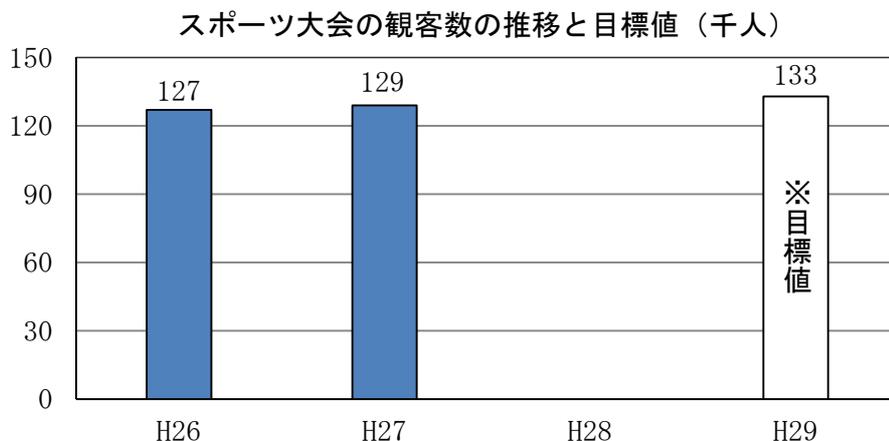
2 スポーツ大会の参加者数の増加

- スポーツ大会の参加者数については、平成 26 年から 3 千人増加させ、平成 29 年には 31 千人とすることを目標としています。
- 平成 27 年のスポーツ大会の参加者数は、29 千人となり、平成 26 年から 1 千人増加しました。



3 スポーツ大会の観客数の増加

- スポーツ大会の観客数については、平成 26 年から 6 千人増加させ、平成 29 年には 133 千人とすることを目標としています。
- 平成 27 年のスポーツ大会の観客数は、129 千人となり、平成 26 年から 2 千人増加しました。
- マラソンや駅伝などを沿道で応援する観戦者が増えています。特に、田原市で開催されている「中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会」は、平成 27 年に 4 回目を迎えること、地元のトヨタ自動車 が全日本実業団対抗駅伝競走大会で優勝していることもあり、観客数が大きく増えています。



Ⅲ さらなるスポーツ大会による地域振興に向けて

- 愛知県最高峰の茶臼山やつぐ高原、四谷千枚田、鳳来寺、湯谷温泉など奥三河の観光資源が楽しめる、愛知県初の本格的な中距離トレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」が、平成 27 年度より新たに立ち上がりました。愛知県外からも多数のランナーが参加しており、地元住民も一体となって大会を盛り上げています。今後も、スポーツ大会と連携して、東三河地域の特産品や観光情報の PR を強化し、地域内外の交流を図り、地域活性化に繋げることが求められます。
- 新東名高速道路の開通(平成 27 年 2 月 13 日)により、東三河への所要時間が大幅に短縮されました。平成 28 年度に策定する主要プロジェクト推進プランのテーマとなっている「新東名インパクトを活かした地域振興～広域観光の新展開～」において検証する新東名高速道路の開通効果を踏まえ、各種大会の充実・普及に取り組むとともに、観光資源とスポーツ大会の連携や、競技団体などの多様な主体との連携を推進していく必要があります。
- 近年は、観戦する人が増えています。そのため、世界・全国レベルの大会を招致し、東三河地域のスポーツ振興に繋げることが期待されています。

IV 平成 27 年度の主な取組の進捗状況

1 地域連携によるスポーツ大会の新展開

(1) 新たなスポーツ大会の開催

<民間事業者、県、新城市、設楽町、東栄町、豊根村> 奥三河パワートレイルの開催

- 茶臼山高原（豊根村）から湯谷温泉（新城市）までを走るトレイルランニングの大会を開催。

第1回大会の開催に当たっては、広報媒体を活用した大会の情報発信などを行うとともに、当日の盛り上げを実施。

また、第2回大会の開催に当たっては、広報媒体を活用した大会情報発信などを行うとともに、トロフィーや奥三河の木材を使用した完走メダルを作成。

(第1回大会)

- ・開催時期：平成27年4月11日(土)～12日(日)
- ・出走者数：758人(うち完走者数234人)

(第2回大会)

- ・開催時期：平成28年4月23日(土)～24日(日)
- ・出走者数：780人(うち完走者数475人)



(奥三河パワートレイル)

<民間事業者、新城市> ダモンデトレイルの開催

- 愛知県民の森を流れる大津谷川沿いに整備されたトレイルを利用した特設コース(1周約2.7km)で大会を開催。

トレイル初心者でも楽しめるようソロ、もしくは1チーム4人までのチームで交代しながら走り、3時間の周回数を競うトレイルランニング大会。



(ダモンデトレイル)

(2) 既存の大会をつなぐ連携協力の推進

<県、新城市、東栄町、豊根村>

奥三河マラソンシリーズの開催

- 奥三河地域と都市部の交流人口拡大を目的に、奥三河地域で実施されている既存のマラソン大会を活用したポイント制のマラソンシリーズ戦を開催し、上位成績者を表彰。

- ・第1戦 平成27年11月1日(日)
とよね・みどり湖ハーフマラソン(ハーフ)
- ・第2戦 平成28年1月17日(日) 新城マラソン(10km)
- ・Final 平成28年3月6日(日) とうえいマラソン(5km)

※ Final(とうえいマラソン)の出場条件

第1戦及び第2戦を完走した者のうち、ランキング上位の男女各25名



(奥三河マラソンシリーズ)

＜東三河広域観光協議会＞

「スポーツカレンダー」による情報発信

- 東三河地域で行われている数多くのスポーツ大会を月別に掲載した「ほの国スポーツカレンダー」を作成。ホームページに掲載し、継続的に情報発信。



The image shows a screenshot of a website titled "スポーツカレンダー" (Sports Calendar). The page features a table with columns for "開催日" (Date), "開催地" (Venue), "大会名" (Event Name), and "主催" (Organizer). The table lists various sports events scheduled for different months. A small map of the region is visible in the top right corner of the page.

(スポーツカレンダー)

2 世界・全国レベルのスポーツ大会の招致

(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致

＜県＞ 「あいちスポーツコミッション」の設立

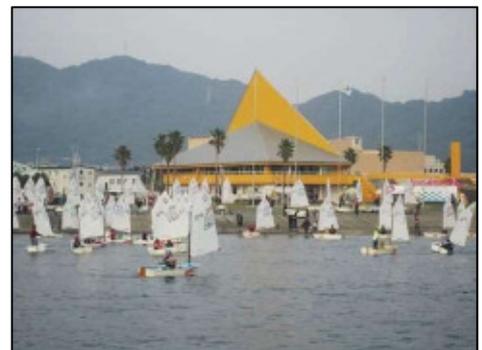
- 全国、世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげる取組を、地域の関係者で連携・推進するため「あいちスポーツコミッション」を平成27年4月1日に設立。自治体の他にも、スポーツ関係団体、経済・観光団体、マスメディア、企業・NPOなどが参画し、地域の関係者が一体となった取組を推進。

＜市町村、県＞ 「事前キャンプ候補地ガイド」、「Sports Camp Japan」への掲載

- 一般社団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が作成する「事前キャンプ候補地ガイド」に応募。掲載情報は、2016年8月のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあわせて、ホームページで公開予定。
- 2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、参加国・地域選手団の事前キャンプ誘致のマッチングサイト「Sports Camp Japan」へ競技施設、宿泊施設などの情報を掲載。

＜県＞ 「豊田自動織機 海陽ヨットハーバー」の機能強化

- 「豊田自動織機 海陽ヨットハーバー」は、平成29年度にレーザー級世界選手権大会の開催が決定するなど、今後も国際大会の開催が期待されているため、ラグーナ蒲郡地域の活性化を牽引し、大規模な国際大会にも対応出来るよう、クラブハウスや浮棧橋などの既存施設を拡張。



(海陽ヨットハーバー)

＜田原市、県＞ サーフィン競技大会、トライアスロン事前合宿の誘致活動

- 愛知県と田原市は、2020年東京五輪大会の正式種目候補であるサーフィン競技大会、トライアスロン競技の事前合宿の誘致を実施中。また、渥美半島産の맘（菊）が2020年東京五輪大会のビクトリーブーケに活用されるよう要望中。



(サーフィン大会会場の誘致)

(2) 世界・全国レベルの大会の招致

＜県＞ FIFA フットサルワールドカップ 2020 の招致

- 日本サッカー協会は、平成27年10月に、愛知県を開催地として「FIFA フットサルワールドカップ 2020」を日本へ招致することを決定。

愛知県として、日本サッカー協会が行う招致活動に協力するため、フットサルワールドカップを日本・愛知で開催する意義や、開催地である日本及び愛知県の紹介などを盛り込んだ招致パンフレットを作成。



(招致に向けたパンフレット)

＜県、蒲郡市＞ セーリング国際大会の招致

- 海陽ヨットハーバーでは、平成29年夏にテザー級世界選手権開催が決定。

また、平成29年秋に開催されるセーリングワールドカップについて、日本セーリング連盟と協力し、招致活動を展開。



(セーリング競技)

＜豊橋市＞ 三遠ネオフェニックスのホームアリーナ誘致

- 平成27年7月、浜松、東三河で初のプロスポーツチームである「浜松・東三河フェニックス」が、2016-17シーズンより発足する男子プロリーグ「B.LEAGUE」の1部リーグへ参入し、ホームアリーナを豊橋市総合体育館とすることが決定。

※平成28年7月1日よりクラブ名が「三遠ネオフェニックス」へ変更

3 スポーツ大会による地域振興

(1) 観光との連携

<県> 奥三河パワートレイル

- 「第1回奥三河パワートレイル」では、エイドステーションにおいて、ランナーに地域特産品を提供するとともに、上位入賞者へ東栄町のチェーンソーアートで作成したコノハズクのトロフィーを贈呈。また、フィニッシュ会場で開催された「トレランEXPO」では、チェーンソーアートの実演や花祭の実演などを実施するとともにブースを出展し、東三河地域の観光案内や、奥三河の特産品を販売。

また、平成28年4月に開催された第2回大会に向けて、テレビ番組やYoutubeなど広報媒体を活用した大会のPRを行うとともに、上位入賞者へ贈呈する東栄町のチェーンソーアートによるトロフィーや、奥三河の木材を使用した完走メダルを作成。



(チェーンソーアートのトロフィー)



(フィニッシュ会場の様子)

<蒲郡市> 三河湾健康マラソン

- 第32回三河湾健康マラソン(10km、3km)において、豊橋市、豊川市、豊根村、東栄町、設楽町、蒲郡商工会議所協力のもと東三河物産展「おいでんふるさと市」を併催。また、蒲郡市が国内有数の温泉地であることから地元温泉やラグーナテンボス協力のもと「昼食&入浴付マラソン大会参加プラン」を用意。



(三河湾健康マラソン)

<新城市> スポーツツーリズムの推進

- 「奥三河パワートレイル」や「新城ラリー」、「ツールド新城」など緑豊かな自然と地形を活かしたアウトドアスポーツイベントを開催し、全国から多くの選手と観客を本市に呼び込むことで交流人口の拡大による地域の活性化を推進。
- 「新城ラリー」会場内の飲食ブースにおいて、軽トラにより地元の名物を提供。ラリー観戦だけでなく奥三河地域の特産品などのPRを実施。



(新城ラリー)



(新城ラリー大会会場での地域PR)

＜田原市＞ トライアスロン伊良湖大会

- 「トライアスロン伊良湖大会」において、地元特産物の提供や前夜祭を充実させることで、地域の活性化と交流人口の拡大を推進。



(「トライアスロン伊良湖大会」での地元特産品の提供)

＜県＞ 経済波及効果の算出

- 新たなスポーツ大会である「奥三河パワートレイル」が地域にもたらす経済波及効果を、愛知大学と連携して算出。愛知県内で5,300万円、全国で8,800万円。

(2) 多様な主体との連携

＜豊川市＞ 各種競技団体・指導者等との連携

- ロンドンオリンピック銅メダリストの加藤ゆかさを招き、市内中学校水泳部員、市内スイミングクラブに所属する小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象に、水泳の基本技術を指導。



(メダリストによるスポーツ教室)

＜豊橋市＞ 運営ボランティアの育成

- 穂の国・豊橋ハーフマラソンにおいて市内大学へ救護ボランティアの派遣を依頼。東三河で活動する救護ボランティア団体が運営に参加するとともに、大会関係者及び参加者へ救命講習会を実施。



(救護ボランティア団体)

(3) 各種大会の充実・普及

＜東栄町＞ 有力選手の招へい

- 平成28年3月6日に開催した第2回東栄マラソン大会では、シドニーオリンピック陸上競技10,000m日本代表の高橋千恵美選手をゲストランナーとして招へいし、走法などのトークショーを開催。



(東栄マラソン大会でのトークショー)

＜市民団体、蒲郡市＞ トップアスリート、指導者によるジュニア選手の育成・強化の支援

- 市民団体G³ (ジーキューブ) 主催によるプロバレーボールチーム「東レアローズ」のバレーボール教室を開催。



(「東レアローズ」によるバレーボール教室)